ほけんだより　８月号

令和5年度
あゆみ保育園
園長　　江郷　勝哉
看護師　高瀬　浩子

夏真っ盛りの８月です。保育園では、子ども達がプール遊び・水遊びを楽しんでいます。

この夏、旅行など遠出の計画を立てているご家庭も多いかと思います。楽しい思い出をたくさん作れるといいですね。厳しい暑さが続きますが、栄養・睡眠をたっぷりとって、暑い夏を乗り切りましょう！

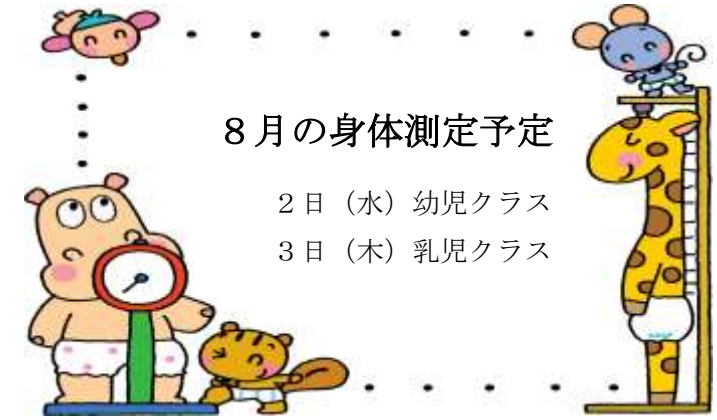
＜先月の感染症
（６月 20 日～７月 20 日）＞

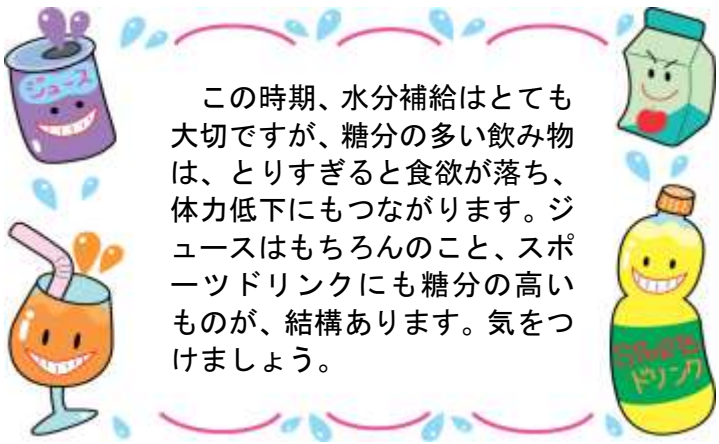
ヘルパンギーナ　乳児　７名　幼児　５名
RS ウイルス　　乳児　４名　幼児　１名
ヒトメタニューモウイルス　乳児　１名
　　幼児　３名
溶連菌感染症　　乳児　１名　幼児　１名

＊その他、「風邪」との診断で、多くの発熱者が出て、お休みしたお子様が大変多かったです。

８月の身体測定予定

２日（水）幼児クラス
３日（木）乳児クラス





この時期、水分補給はとても大切ですが、糖分の多い飲み物は、とりすぎると食欲が落ち、体力低下にもつながります。ジュースはもちろんのこと、スポーツドリンクにも糖分の高いものが、結構あります。気をつけましょう。

＜～園内で様々な「感染症」が流行しました～＞

６月の下旬頃から園内で様々な感染症が流行しました（詳細は左記参照）。風邪と診断されて、その後重症化したお子様もいます。東京都でも、「RSウイルス」「ヘルパンギーナ」が流行しており、警戒情報が出ています。現在の小児の感染症流行の理由としては、「コロナ禍の感染対策によって風邪などにかからず、感染症への免疫を持っていない子供が増えている。」との医師の見解が多いです。

また、小児科医療がひっ迫しているため、ベッドが空いておらず、入院出来ないケースもあるようです。

熱があっても、食欲があり、元気な場合は様子をみて大丈夫な場合もありますが、下記のような症状がある時は、緊急で受診して下さい。

●生後３カ月未満の乳児：「38 度以上の熱がある」
●乳幼児：「顔色が悪くてぐったりしている」
「ぐずりがひどい」
「元気がなく昼間も眠ってばかりいる」
「水分を受け付けない」
「半日以上尿が出ない」
「嘔吐や下痢を繰り返す」
「せき込みがひどく息も絶え絶え」

≪～「＃8000」について～≫

夜間や休日にお子様の体調が悪化した時は不安になるものです。そんな時は『こども医療でんわ相談 #8000』に電話すると、小児科医や看護師から、対処の仕方やアドバイスをもらうことができます。必要な時は利用しましょう。

おたよりを紙媒体で欲しい方は、事務所までお越しください。また、おたよりは園のホームページにも掲載しております。